

デンカグループのCSR重要課題(マテリアリティ)

デンカグループは、ステークホルダーおよび自らにとって重要なCSR課題(マテリアリティ)を選定し、当社CSR活動の指針として整理しました。

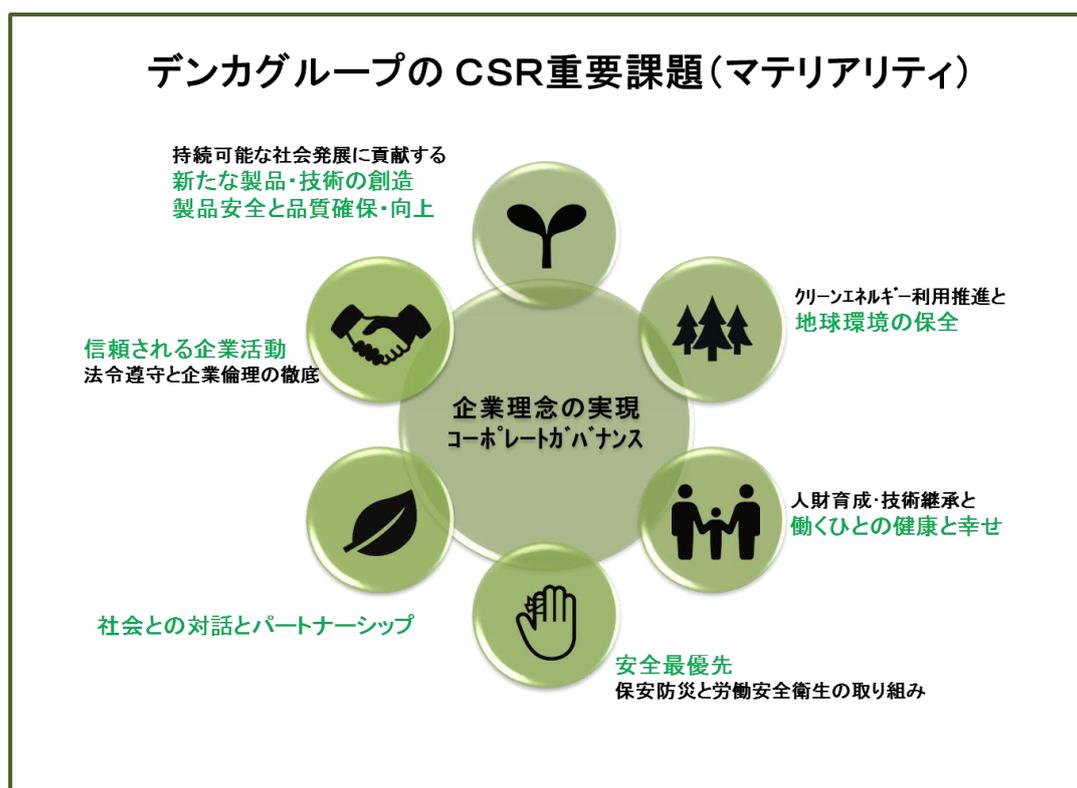
CSR重要課題(マテリアリティ)の選定

デンカグループは、企業理念「The Denka Value」の中で「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造(つくる)ことで、社会発展に貢献する企業となる。」を「Denkaの使命」と位置づけています。社会からの期待に応え信頼される企業グループとして、健全なる持続的成長を目指しています。

企業理念実現のために取り組むべき課題を整理し、ステークホルダーの皆さまのご理解を得るために、2017年4月にCSR重要課題(マテリアリティ)を選定しました。

本マテリアリティは、SDGsなどの国際的な取り組み、GRIやISO26000等のガイドライン、ESG投資、CDP、CSR調達などにおいて示されている社会の課題(ニーズ)を参考とし、ステークホルダーの皆さまのご期待や影響を踏まえて、CSR重要課題を整理・評価し、経営委員会での議論と承認を経て決定したものです。

このCSR重要課題を、グループ内の各部門が推進するCSR活動のベースとしていくとともに、ステークホルダーの皆さまとの対話を深めながら、継続的な企業活動の改善に繋げてまいります。



カテゴリー	CSR 最重要課題 (マテリアリティ:13 項目)
安全最優先	保安防災
	労働安全衛生と明るく快適な職場環境づくり
製品・技術	持続可能な社会発展に貢献する新たな製品・技術の創造
	製品の安全
コーポレートガバナンス 信頼される企業活動	企業理念の浸透と企業風土の改革
	コーポレートガバナンスの強化
	法令の遵守、企業倫理の徹底
働くひとの幸せ	人財育成・技術の継承
	多様性尊重(ダイバーシティ)と機会均等への配慮
	ワークライフバランスと従業員の健康増進
環境の保全	大気・水・土壌等の環境汚染防止
	気候変動対策推進 (温暖化防止、温室効果ガス排出抑制、変動への適応)
社会との対話 パートナーシップ	企業情報の適時・適切な開示と双方向コミュニケーションの確立

CSR 重要課題 (マテリアリティ) 選定プロセス

①分析評価対象となる課題項目の設定

社内横断組織であるマテリアリティ・タスクフォースを組織し、化学企業として社会から求められる国際規範や主要ガイドラインを踏まえた課題項目を抽出 (GRI ガイドライン、ISO26000、国連グローバルコンパクト、SDGs、EICC、DJSI)

②ステークホルダーの期待の分析

需要家・消費者、従業員、地域社会、株主・投資家、取引先を中心としたステークホルダーの期待と影響を、コーポレート責任部門が自らの分析を踏まえて評価する

③デンカグループにとっての重要度の分析

企業理念「The Denka Value」実現と健全で持続的な成長を目指すための、経営計画「Denka Value-Up」の実行と、社会的責任の遂行に際しての課題を、コーポレート責任部門によって抽出し、さらに経営企画室とともに検証を行った

④CSRの CSR 重要課題(マテリアリティ)の選定

ステークホルダーの重要度、デンカグループとしての重要度を踏まえたCSR重要課題を、マテリアリティ・マトリックス手法によって 32 項目選定。経営委員会の妥当性評価を経て、さらに最重要の CSR 課題 13 項目を選定した。

経営環境や社会の変化により、経営課題は変化します。ステークホルダーの皆さまのご意見を踏まえた適切な見直しを実施していきます。

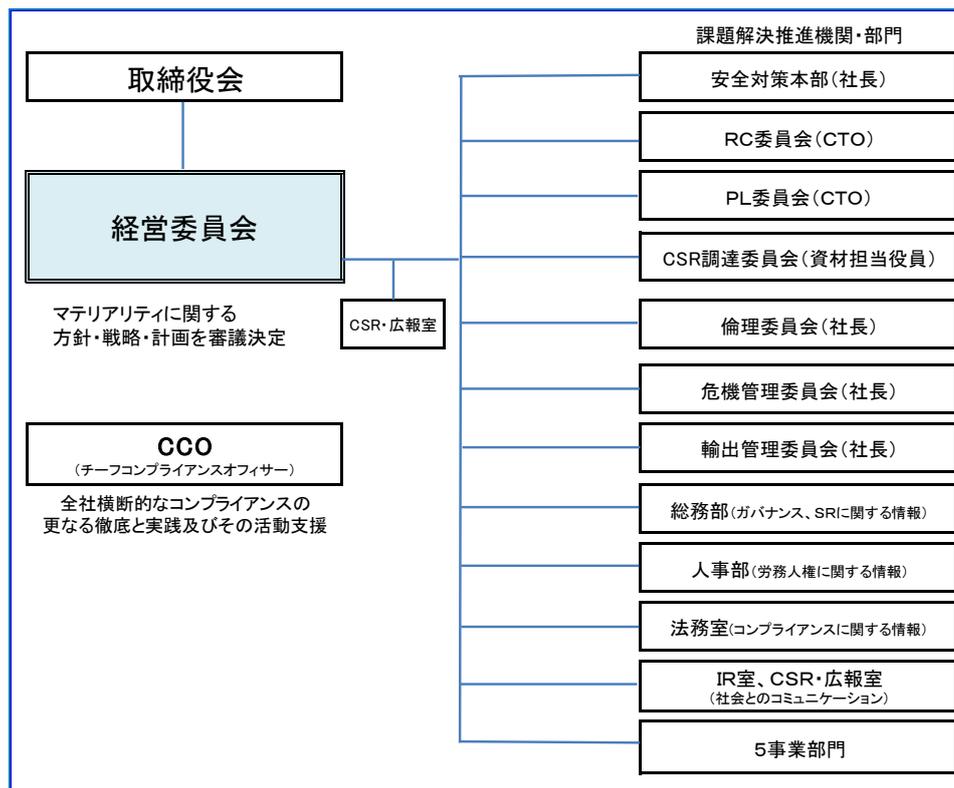
CSR 推進体制

デンカグループでは、経営の重要事項に関する討議を行う経営委員会(委員長:社長)において、CSR 重要課題(マテリアリティ)を討議し、取締役会へ報告します。

各部門・機関は、安全や RC 活動など、それぞれが担当する活動を集約して、計画的な改善を図っています。

※下記図の各委員会括弧内は組織長、部門の括弧は統括する情報を示しています。

※2017年4月現在



企業理念「The Denka Value」と社会的責任の遂行

デンカグループは2016年に企業理念「The Denka Value」を制定し、「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造(つくる)ことで、社会発展に貢献する企業となる。」を「Denkaの使命」として明確に位置づけ、一人ひとりが常に立ち戻り、自らを見つめ直す規範として、「Denkaの行動指針」を制定いたしました。

社会的責任の遂行と成長戦略を、ともに欠かすことの出来ない両輪として、企業理念「The Denka Value」実現の基盤と位置づけ、未来に向けて、成長し続ける企業グループを目指してまいります。



以上